

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



2013年度 第2四半期決算 (2013年4月1日～2013年9月30日) および業績予想修正

第一三共株式会社

代表取締役社長 兼 CEO 中山 讓治

2013年11月1日(金)

第2四半期累計 連結業績 前年同期比較



Daiichi-Sankyo

単位:億円

連結業績

	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	前年同期比
売上高	4,842	5,164	+322 (+6.7%)
売上原価	1,438	1,665	+227
販売費及び 一般管理費	2,833	2,942	+110
研究開発費	872	949	+77
一般管理費	1,961	1,993	+33
営業利益	571	557	-14 (-2.5%)
経常利益	499	470	-29 (-5.7%)
当期純利益	244	308	+65 (+26.6%)

為替 レート	USD/円	79.42	98.86
	EUR/円	100.64	130.01

うち ランバクシーグループ(連結調整前)

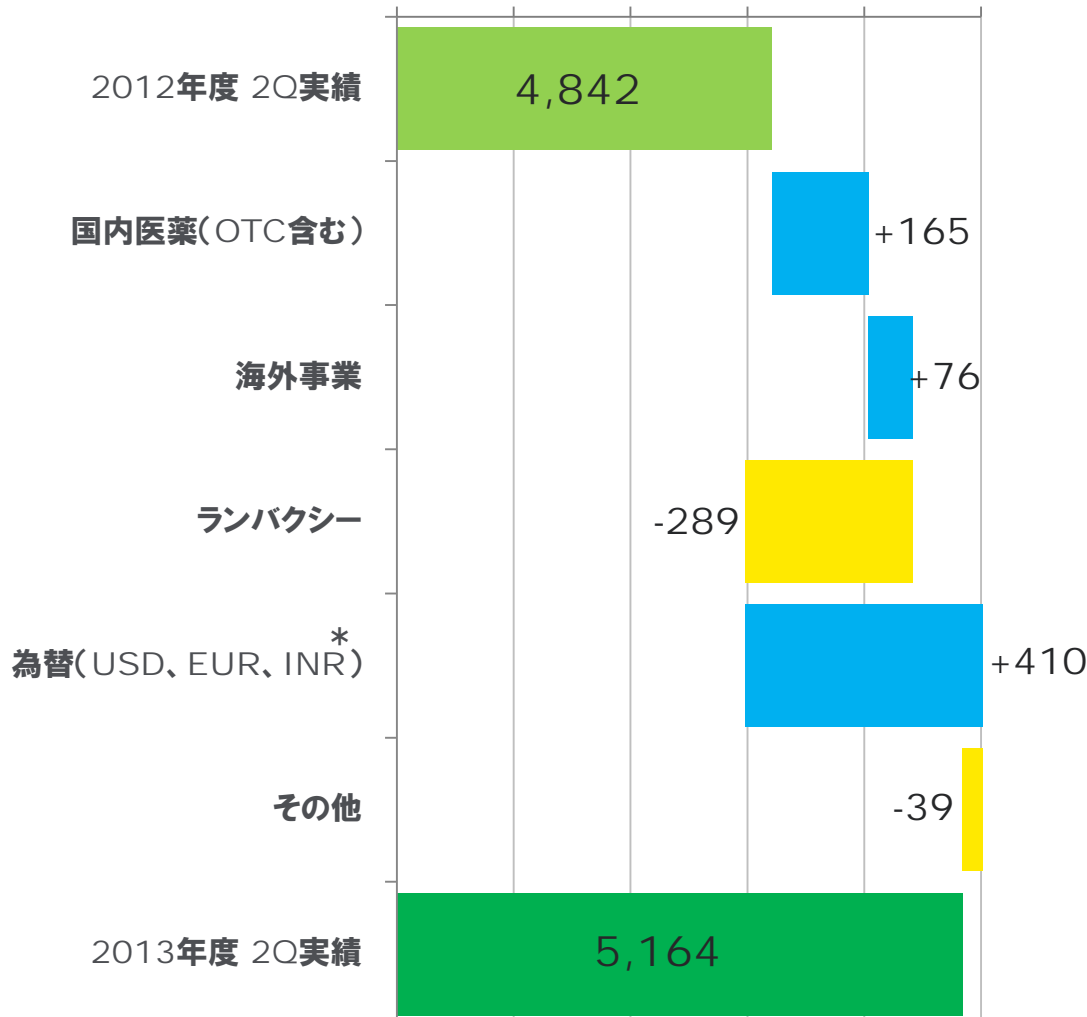
2012年度 第2四半期 (1-6月)	2013年度 第2四半期 (1-6月)	前年同期比
1,077	886	-191 (-17.7%)
409	460	+51
474	393	-81
41	52	+11
432	341	-91
194	33	-162 (-83.1%)
120	-53	-173
81	-36	-118

INR/円

1.54	1.74
------	------

第2四半期累計 売上高 増減

4,200 4,400 4,600 4,800 5,000 5,200



増収要因
表示：+

減収要因
表示：-

億円

国内医薬

- ・増収:ネキシウム +196、メモリー +36、ワクチン類 +18
- ・減収:メバロチン -22

海外事業

- ・第一三共Inc. (DSI) +9
- ・ルイトホルド (LPI) -44
- ・第一三共ヨーロッパ (DSE) +23
- ・アジア/中南米 (ASCA) +87(為替影響含む)

ランバクシー (RLL)

- ・アトルバスタチンの寄与等(前期)

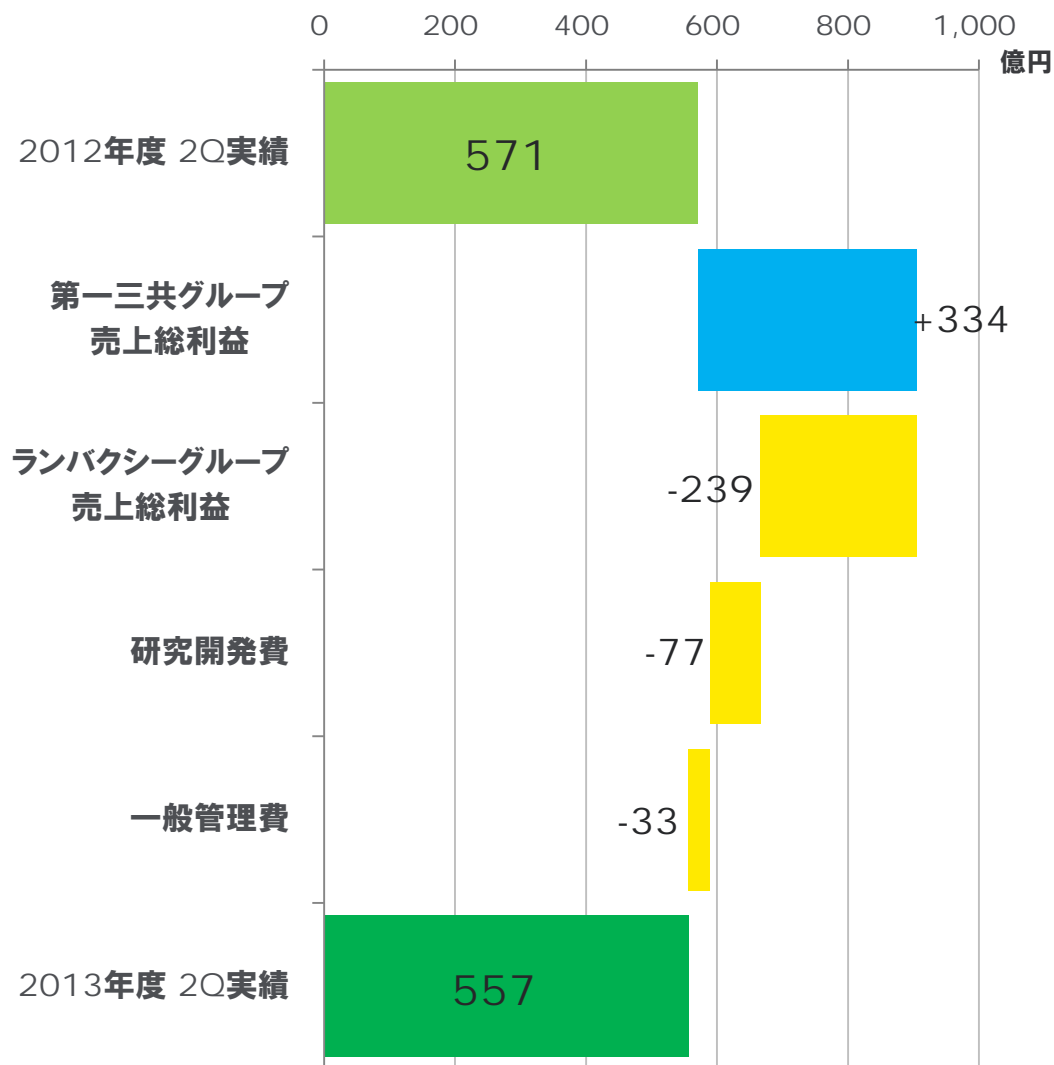
為替の影響額

USD:約+210, EUR:約+90, INR:約+100

*為替
レート

	2012年度 2Q実績	2013年度 2Q実績
USD/円	79.42	98.86
EUR/円	100.64	130.01
INR/円	1.54	1.74

第2四半期累計 営業利益 増減



増益要因
表示：+

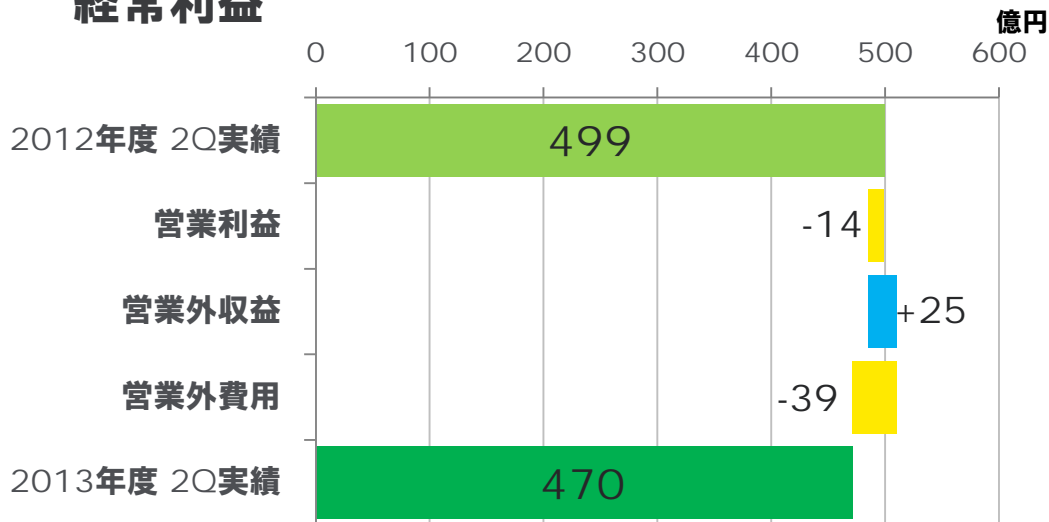
減益要因
表示：-

研究開発費: 含む為替影響 約-120

一般管理費: 含む為替影響 約-200

第2四半期累計 経常利益/当期純利益 増減

経常利益



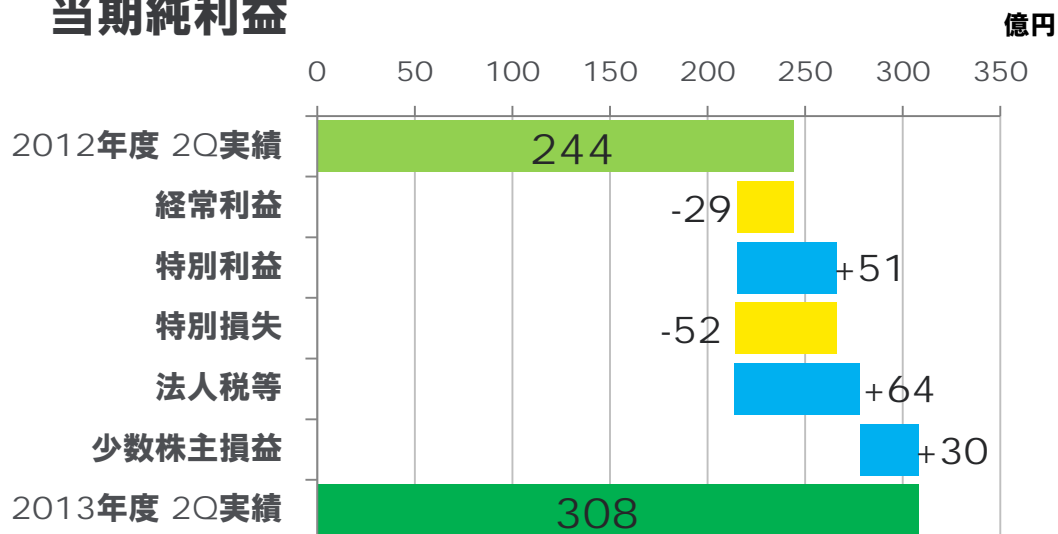
増益要因
表示：+

減益要因
表示：-

営業外収益： RLLの為替予約評価益増加等

営業外費用： RLLの為替差損増加等

当期純利益



特別利益：投資有価証券売却益等

特別損失：欧州における事業再編等の特別損失計上

法人税等：
試験研究費の税額控除の増加、子会社のU3ファーマからの資本の払い戻しに伴う税金費用の減少等

Memo

売上高

第一三共グループ・ランバクシーグループ(決算期変更・15か月決算)の上方修正

営業利益

ランバクシーの米国での独占的販売権を有する後発品(FTF品)の売上高を含まないことに伴う減額修正

経常利益

2013年9月末までのランバクシーの為替差損の発生を織り込んだ減額修正

2013年度 連結業績予想修正

単位:億円

	2013年度 予想 (7月公表)	2013年度 修正予想 (10月公表)	差異
売上高	10,800	11,100	+300
(ランバクシー売上) (INR/円レート)	(2,170) (1.75)	(2,240) (1.66)	(+70)
売上原価	3,550	3,760	+210
販売費及び 一般管理費	6,150	6,290	+140
研究開発費	1,870	1,910	+40
一般管理費	4,280	4,380	+100
営業利益	1,100	1,050	-50
経常利益	1,000	900	-100
当期純利益	650	650	-

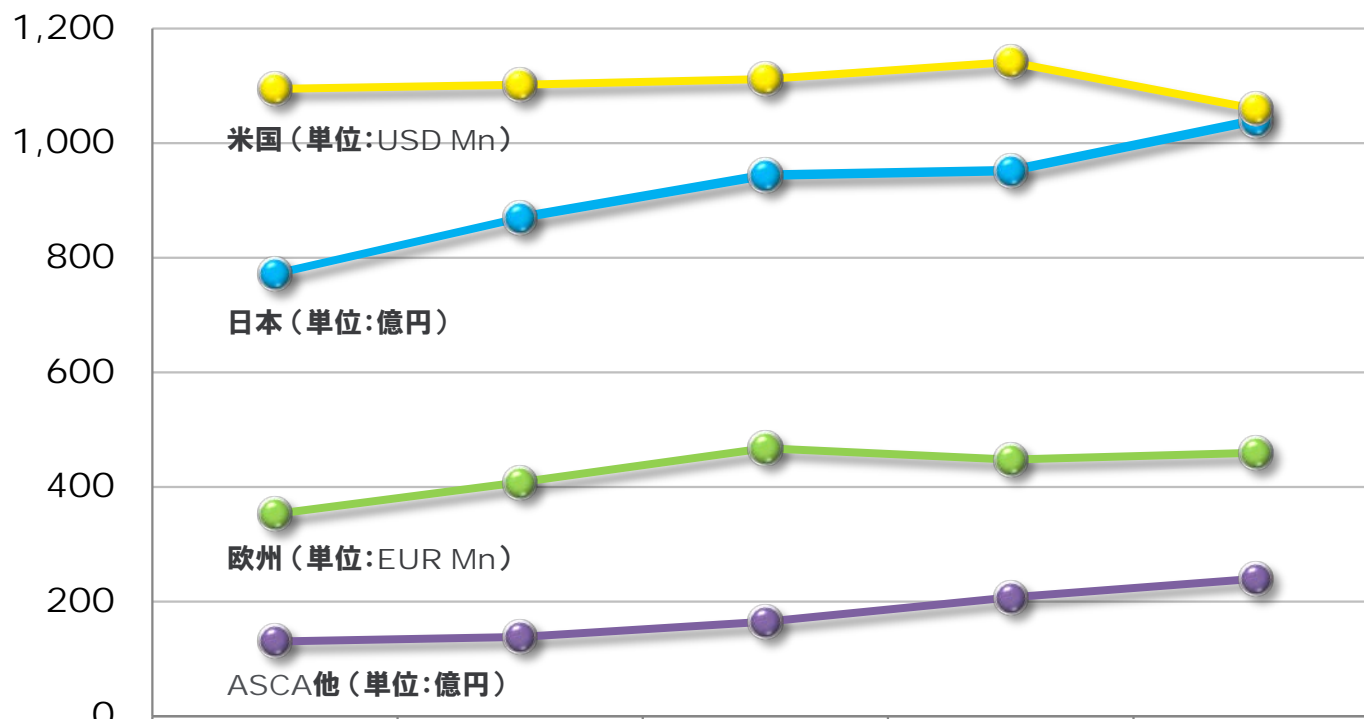
為替 レート	USD/円	95.94	96.93
	EUR/円	125.99	130.01

国内主要製品別 売上高推移および見通し

単位:億円

		2012年度 2Q実績	2013年度 2Q実績	2013年度 通期見通し
オルメテック	高血圧症治療剤	376	376	830
レザルタス	高血圧症治療剤	81	90	210
ロキソニン	消炎鎮痛剤	297	307	610
ネキシウム	抗潰瘍剤 (プロトンポンプ阻害剤)	44	240	520
クラビット	合成抗菌剤	165	157	350
メモリー	アルツハイマー型 認知症治療剤	108	144	340
アーチスト	高血圧症治療剤	112	111	220
メバロチン	高コレステロール血症 治療剤	133	111	220
オムニパーク	造影剤	102	100	190
ユリーフ	排尿障害治療剤	54	56	120
ランマーク	癌骨転移治療剤	17	34	70

オルメサルタンの売上高推移（現地通貨ベース）



	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 通期見通し
● 日本（単位：億円）	772	870	944	952	1,040
● 米国（単位：USD Mn）	1,095	1,102	1,112	1,142	1,060
● 欧州（単位：EUR Mn）	353	408	468	448	460
● ASCA他（単位：億円）	131	139	165	207	240

オルメサルタン内訳 日本：オルメテック、レザルタス

米国：ベニカー、ベニカーHCT、エイゾール、トライベンゾール

欧州：オルメテック、オルメテックプラス、セビカー、セビカーHCT

◆ 海外事業およびランバクシーの収益最大化

- 米ルイトホルド[®]：インジェクタファー発売（8月）
シャーリー工場の案件、解決に向けFDAと協議中
- ランバクシー：米司法省との案件解決（5月）
モハリ工場の案件解決に向け、グループ全体での取り組み

◆ 日本での主力製品群の成長と新製品の早期市場浸透

- ネキシウム・メモリー・ランマークなどの伸長

◆ グローバル製品の市場競争力強化と収益貢献最大化

- オルメサルタン：最大化に向けた取り組みを推進
- プラスグレル：日本におけるPCIを伴う虚血性心疾患の承認申請（6月）
- エドキサバン：日米欧におけるAF,VTEの承認申請（2013年度中予定）

◆ 増収増益の達成

- 売上高： 11,100億円(対前年+ 11.2%)
- 営業利益： 1,050億円(対前年+ 4.5%)

抗血小板剤 プラスグレル：日本申請・上市スケジュール

目標適応症	2013年度	2014年度		2015年度	2016年度
	10-3月	4-9月	10-3月		
PCI*を伴う虚血性心疾患 <i>PRASFIT-ACS</i> <i>PRASFIT-Elective</i>		承認 ・ 上市			
虚血性脳血管障害 <i>PRASTRO-I</i>	フェーズ3試験実施			申請	承認 ・ 上市

*PCI : Percutaneous Coronary Intervention (経皮的冠動脈形成術)

抗凝固剤 エドキサバン:グローバル申請・上市スケジュール

目標適応症	2013年度	2014年度		2015年度 ~
	10-3月	4-9月	10-3月	
心房細動に伴う脳卒中 および全身性塞栓症予防 				
DVT*/PE**患者の静脈血栓 塞栓症の治療および再発抑制 				

*DVT : Deep Vein Thrombosis (深部静脈血栓症)

**PE : Pulmonary Embolism (肺塞栓症)

ASCA : Asia, South and Central America

本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126 (報道関係者の皆様)

03-6225-1125 (株式市場関係者の皆様)

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。